

1章 解剖・組織

01 健康な歯周組織	[小方頼昌]	8
02 付着とは何か？ その種類は？	[小方頼昌]	9
03 1壁性、2壁性、3壁性骨欠損を知る	[中山洋平]	10
04 歯肉の線維性と浮腫性の特徴	[中山洋平]	11
05 加齢によって歯周組織はどう変化していくのか	[小方頼昌]	12
06 歯肉退縮の種類	[目澤 優]	13
07 治癒形態を知る	[小方頼昌]	14

2章 診査・診断

08 初診時の診査項目	[若松尚吾]	16
09 歯周病に関連する細菌検査	[石原和幸]	18
10 デンタルX線写真はなぜ必要か	[西島 泉]	19
11 デンタルX線フィルムの位置づけ	[西島 泉]	20
12 口腔内写真はなぜ必要か	[中館正芳]	22
13 プロービングはなぜ必要か	[稲垣伸彦]	24
14 動揺度・フレミタスの診査はなぜ必要か	[稲垣伸彦]	26
15 フレアアウトとは何か	[江尻健一郎]	28
16 歯周病と咬合の関係	[富樫裕一郎]	30
17 エンド・ペリオ病変の診断のポイント	[中村貴則]	33
18 歯周炎におけるリスクファクター	[若松尚吾]	36
19 検査結果を患者に説明するカウンセリング	[若林健史]	38
20 病名の種類	[岡田祐輔]	40

3章 歯周基本治療

①モチベーション

21 歯周病患者をやる気にさせるアプローチ①	[飯野文彦]	42
22 歯周病患者をやる気にさせるアプローチ②	[飯野文彦]	43
23 モチベーションの低い患者にどう対応し、説明するとよいか	[安藤正明]	44
24 どのようにして患者のモチベーションを維持していくか	[安藤正明]	45

②TBI

25 患者にセルフケアを勧めるコツ	[石谷昇司]	46
26 禁煙できない患者へのアプローチ	[石谷昇司]	47
27 患者に合わせたTBIのコツ	[東 裕美]	48
28 患者に合った歯ブラシの選択	[東 裕美]	50
29 歯間ブラシが必要な患者、部位	[片山奈美]	52
30 デンタルフロスが必要な患者・部位	[児玉加代子]	53
31 ブラッシング圧の強さを抑えられない患者への対応	[塩浦有紀]	54
32 電動歯ブラシを好む患者への指導	[塩浦有紀]	55
33 嘔吐反射のある患者にTBIやSRPを行うコツ	[片山奈美]	56

③SRP

34	どこにどのキュレットを用いるのか	[高井英樹]	58
35	何mmの歯周ポケットまで SRP で対応できるのか	[中島啓介]	59
36	歯石はいつ取るのか	[中島啓介]	60
37	オーバーインスツルメンテーションとはどのような状態で、 どうすれば防げるか	[中島啓介]	61
38	デリケートな前歯部へのスケーリングでの注意点	[中島啓介]	62
39	プラークコントロールが不十分な状態での SRP の効果	[臼井通彦 中島啓介]	63
40	ルートプレーニングとデブライドメントの違い	[臼井通彦 中島啓介]	64
41	麻酔下・非麻酔下における SRP は、結果やリスクに影響を及ぼすか	[臼井通彦 中島啓介]	66
42	デブライドメント・SRP の1歯あたりにかける時間	[臼井通彦 中島啓介]	68
43	超音波スケーラーと手用スケーラーによる SRP で、 効果に違いはあるか	[丸山昂介 佐藤 聡]	69
44	超音波スケーラーでのデブライドメントの際に表現される “フェザータッチ”とは	[両角祐子 佐藤 聡]	70
45	SRP で滑沢にした根面は、そうでない根面より細菌が付きやすいか	[石原和幸]	71
46	SRP 後の菌血症のリスクと予防法	[石原和幸]	72
47	SRP は動揺度が増しているときに行ってもよいか	[高井英樹]	73
48	歯周基本治療後に歯肉退縮し、知覚過敏が生じた際の処置方法	[清水 豊 佐藤 聡]	74
49	歯周病患者への抗菌療法の適応症と投薬のタイミング	[高塩智子 佐藤 聡]	75
50	薬液などを用いた歯周ポケット内洗浄は効果があるのか	[目澤 優]	76
④骨欠損への対応			
51	自然挺出の促し方	[斎田寛之]	78
52	LOT による骨欠損の改善	[斎田寛之]	80
⑤プロビジョナルレストレーションの活用			
53	歯周基本治療中のプロビジョナルレストレーションの役割	[尾崎 聡]	82
54	暫間固定による連結の範囲	[猪狩寛晶]	84
55	治療用義歯を用いた咬合の安定確保	[鎌田征之]	86

4章 再評価

56	再評価で何をみるのか	[梅田 誠]	90
57	歯周基本治療後、再評価までどのくらいの期間を空けるべきか	[梅田 誠]	92
58	再評価時に変化がない場合、どう対応するか	[梅田 誠]	93
59	SRP後、歯周ポケットに改善がみられない場合、歯周外科に移行する基準	[梅田 誠]	94

5章 歯周外科

60	歯周外科で何を治せるのか	[申 基喆]	96
61	歯周外科の基本	[辰巳順一 申 基喆]	98
62	切除療法の定義と種類	[林 丈一郎 申 基喆]	100
63	フラップキュレッタージの術式と特徴	[辰巳順一 申 基喆]	101
64	歯肉弁根尖側移動術	[酒井和人]	102
65	骨整形と骨切除	[酒井和人]	103
66	GTR と EMD を使用した再生療法の治療成績	[富田幸代 齋藤 淳]	104
67	再生療法の種類と特徴、適応症	[色川大輔 齋藤 淳]	106

68	おもな国内未承認材料の種類と特徴	[鈴木瑛一 齋藤 淳]	108
69	FGG の術式と特徴	[林 丈一郎 申 基喆]	110
70	CTG の術式と特徴	[申 基喆]	112
71	根面被覆	[石川 聡]	114
72	インプラント周囲疾患	[芝 多佳彦]	116
73	歯周外科を拒む患者への適切な説明	[澤辺正規]	119
74	歯周外科前の歯科衛生士の役割	[佐藤未奈子]	120
75	歯周外科準備・外科前の消毒	[熱田 互]	121
76	歯周外科に必要な器具	[澤辺正規]	122
77	歯周外科のアシスタントワーク	[熱田 互]	124
78	歯周外科後の歯周パックは必要か	[山脇史寛]	125
79	歯周外科後の対応	[川名部 大]	126
80	歯周外科直後の注意事項	[稲垣伸彦]	127
81	歯周外科後の消毒と含嗽剤	[川名部 大]	128
82	歯周外科後のブラッシング開始時期	[山脇史寛]	129
83	歯周外科直後の衛生管理	[鈴木浩之]	130
84	抜糸のタイミング	[林 直也]	131

6章 メンテナンス・SPT

85	メンテナンスで何をみるのか	[沼部幸博]	133
86	メンテナンスやSPT はどのくらいの間隔で行うのか	[沼部幸博]	136
87	メンテナンスとSPT の違い	[沼部幸博]	138
88	歯肉増殖症への対応	[沼部幸博]	139
89	患者の心を動かすことの大切さを実感した症例	[下條美穂子]	140
90	外傷性咬合が歯周炎の進行を助長した患者のメンテナンス	[大八木孝昌]	146
91	広汎型重度慢性歯周炎患者の経過症例	[土岡弘明]	152

7章 全身疾患など

92	歯肉増殖症患者への歯周治療	[村井 治 八重柏 隆]	158
93	治りが悪い患者への歯周治療	[村井 治 八重柏 隆]	160
94	糖尿病患者への歯周治療	[佐々木大輔 八重柏 隆]	162
95	認知症患者への歯周治療	[村井 治 八重柏 隆]	164
96	血が止まりにくい患者への歯周治療	[小方頼昌]	166
97	脳血管疾患患者への歯周治療	[澁谷俊昭]	167
98	歯周炎と心血管疾患	[澁谷俊昭]	168
99	早産・低体重児出産と歯周病とのかかわり	[澁谷俊昭]	170
100	対診と紹介状	[澁谷俊昭]	172

column

01	歯周病とアンチエイジング	[若林健史]	77
02	歯周基本治療とSPT の主役	[鎌田征之]	88
03	歯周病との長い戦い	[稲垣伸彦]	105
04	「歯周病検査は必要ない」という誤解	[小方頼昌]	156